

羅睺羅像 国宝

これは釈迦十大弟子の一人、羅睺羅の像である。インドではラーフラと呼ばれ、釈迦牟尼とその妻、ヤショーダラーの間の一人息子である。羅睺羅は仏教における最初の修行僧の一人となり、父仏陀のもとで学び、やがて悟りを得た。釈迦牟尼の息子であるために他人から絶えず注目されていたので、他の弟子たちの倍の努力をする必要があり、羅睺羅は仏陀の弟子たちの中で、忍耐、熱意、そして学びに秀でた存在として知られるようになった。奈良時代（710～794年）につくられた、麻の繊維に漆を塗り重ねた乾漆造で、内部は空洞になっている。